

新橋に橋名板を設置

ぼくたち、わたしたちが字を書きました！



ドローンに向かって笑顔で手を振る6年生



橋名板

橋の上でハイチーズ



「工」の字を書いた吉田くん

橋名板

3月11日、有帆川に架かる現在建設中の新橋にて「橋名板お披露目式」が行われました。4カ所で合計17文字ある新橋の橋名板は、有帆小学校の6年生17人がそれぞれ1文字ずつ書いたものです。

「4」の字を書いた藏重樟栄くんは「有帆小を卒業してばらばらになるけど、僕たちの文字

が有帆にずっと残るのが嬉しいです。成人式の際にはまた皆で集まって自分の書いた文字を指差し合いたいです」と話してくれました。この4月から新たな生活がスタートする有帆っ子17人が思いを込めて書いた橋名板、新橋を渡る時が来たらぜひご覧ください。

(学年の表記は3月11日時点のものです。)

♡おいでませ交流センター♡

昨年度、主催事業にご参加・ご協力いただきました皆さん誠にありがとうございました。講座やクラブ、地域の行事を通してたくさんの方と関わりましたことをとても嬉しく思います。今年度も皆さんのご来館を心よりお待ちしております♪

有帆のスター☆どさけんさん来館

1月11日の知って得する講座は「新春初笑い」ということで、有帆在住で「山口県住みます芸人」として大活躍されている吉本興業のどさけんさんを講師にお招きして開催しました。ご自身の経験談や芸人さん事情、山口県クイズや有帆についてなどたくさんのお話で会場を沸かしてくださり、笑いあり驚きあり感動ありの時間となりました。



笑顔で話すどさけんさん



最後にみんなでパチリ

参加された中村光枝さんは「お笑いが大好きでたくさん笑って本当に楽しい時間でした。クイズに正解してどさけんさんにいただいた写真は玄関に飾って毎日元気をもらっています」と後日笑顔で話してくださいました。

どさけんさん、受講者の皆さんありがとうございました😊

未来に伝えたい！ふるさと有帆の姿



1月22日、2月26日に講座「未来に伝えたい！有帆の年中行事」を開催しました。1月は、ふるさとづくり協議会事務局の安藤一さんに、有帆ふるさとづくりの7大行事の由来について教えていただきました。

2月は、菩提寺山を守る会会長の笹尾進さんに、梅田地区の行事、磨崖仏や観音堂について、また地域の皆さんの活動や地域への思いについてお話しいただきました。



梅田について話す笹尾さん

様々な社会の変化によって、地域の伝統的な祭事や行事が失われつつあると言われ、それは有帆にとっても例外ではありません。先人たちが受け継いできた事実やその裏にある知られざる物語を知り、高校生から80代の参加者の皆さんと改めてふるさとについて思いを巡らせる時間となりました。



熱心にメモをとる皆さん

～お知らせ～

令和4年4月1日より有帆公民館は「有帆地域交流センター」となります。

これまでの公民館機能は継続しつつ、より多くのみなさんや団体が集まり、つながり、様々な地域活動ができる利用しやすい施設として新たにスタートします。主な変更点は次のとおりです。

●名称が「有帆地域交流センター」になります。

→福祉会館も統合し、娯楽研修室が「交流室1」、休養室が「交流室2」になります。

●営利を目的とした利用も可能になります。

●一部使用料が変わります。

→福祉会館部分は時間帯区分の計算から1時間単位での計算に変わります。

→市外の方や営利目的の利用の場合は、使用料が割増となります。

ご不明な点等ございましたらお気軽にお問合せください。



現在、今年度の主催講座・クラブの受講生を募集しています。詳しくは3月15日に配布したチラシもしくはホームページをご覧ください。ご参加をお待ちしております♪

知っちよる有帆

ほうきょういんとう

覚天寺の宝篋印塔(大休)

大休の覚天寺の境内に宍戸家始祖丹後守就俊(なりとし)の宝篋印塔があります。宍戸就俊は慶長6年(1601年)萩毛利氏の一門家老三丘(みつお)宍戸氏の初代元統(もつづく)の次男として生まれました。元和6年(1620年)父・元統に隠居分として与えられた1,096石の地を相続することを毛利輝元・秀就父子に認められ、秀就から「就」の偏諱(へんぎ)と大学頭(だいがくのかみ)の官途名を与えられました。さらに、寛永9年(1632年)には「八郎左衛門尉」の官途名、慶安元年(1648年)には「丹後守」の受領名を秀就から与えられました。寛文11年(1671年)に死去し、墓は鴨庄の円応寺にあります。塔は台座とともに2.36mの花崗岩、就俊の百五十回忌追善のために、文政3年(1820年)、時の当主宍戸伊勢守房寛(ふさひろ)が建立、碑文は萩満願寺の和尚瑞巖の撰であります。(参考文献:今、ふりかえる小野田)

注釈)

宝篋印塔: 宝篋印塔という名前は、鎌倉時代から使われており、塔の中に宝篋印陀羅尼経を納めることから出たと言われています。必ず、この経だけでなく、法華経や舍利を納めたというのもあります。

偏諱: 将軍や大名が、功績のあった臣や元服する者に自分の名の一文字を与えること。



宝篋印塔



覚天寺本堂

有帆セーフティーネットワーク 県知事表彰受賞



伊藤博通会長、村岡県知事、伊藤勝義専務理事

3月22日、有帆セーフティーネットワークが山口県知事表彰(自主防災組織部門)を受賞されました。これは、有帆地区住民の安心・安全のため活発な防災・減災活動を実施された功績が認められたものです。伊藤会長は「本日の受賞は、発足以来、セーフティーネットワークの活動に協力していただいた地域の皆様のお陰と感謝しております」と言われました。おめでとうございます。

年に1度の御開帳 岩崎寺所蔵の仏像一般公開

2月18日、岩崎寺所蔵の「千手観音菩薩立像」、「釈迦如来坐像」、「阿弥陀如来坐像」の3軀の仏像が一般公開されました。この仏像は、平安時代に制作されたもので、20年に1度の開帳秘仏でしたが、平成4年から毎年2月18日の「初観音」の日に1日御開帳に変わり、多くの方に見ていただける機会が増えました。

観音堂に安置されている7軀の仏像は、昭和58年(1983年)に山口県の指定有形文化財に指定されています。平安時代前期から鎌倉時代中期に制作されたもので、じっと仏像を眺めていたら、なぜか安心感を覚え心が落ち着きます。



阿弥陀如来坐像、千手観音菩薩立像、釈迦如来坐像



行事予定

【4月～6月】

1,691世帯 人口 3,633人
男 1,756人 女 1,877人
(3月1日現在)

5月



- 8日(日) 有帆市まつり
- 10日(火) 知って得する講座(健口講座と熱中症予防)
- 13日(金) 男性料理教室
- 27日(金) ガーデニング教室
- 30日(月) 歴史探訪講座(窯業のまち小野田)

6月

- 7日(火) 子育て応援ルーム(親子であそぼう)
- 10日(金) 男性料理教室
- 11日(土) ホタルまつり
- 14日(火) 知って得する講座(天気予報が楽しくなるアレコレ!)
- 27日(月) 歴史探訪講座(窯業のまちの歴史を訪ねて 館外学習)



早春のふれあいウォーキング



瑞松庵にて全員集合

3月20日、第6回ふれあいウォーキングが開催されました。公民館を出発し一路宇部市船木の瑞松庵を目指して歩き、お寺にて藤村光昭ご住職から瑞松庵の歴史、国の登録有形文化財の山門や番匠観音などのお話を聞き、境内を自由散策しました。弘法大師88ヶ所霊場を巡り早春の自然を満喫し充実した一日となりました。

お部屋が素敵なギャラリーに



メインの雛飾り

3月といえば、ひな祭り。大休の伊藤静子さんは雛飾りづくりが趣味で、毎年この時期に合わせて自宅の一室を飾られています。鮮やかな作品が部屋一面に並び、そこはまるで展示会場のような空間です。

伊藤さんは「自分の中のイメージが形になるのがとても幸せです」とお話しされました。趣味は人生をより豊かなものにしてくれますね。



鮮やかな作品がずらり

♡ あいほ♡ ふるさと絆リレー

①私の信念又は好きな言葉 ②地域への思い ③次にリレーする人へ一言

49	川神 豊(ゆーちゃん)
	① 明日は明日の風が吹く
②子ども会や地域の行事を通して、有帆の方々の温かさを日々感じています。これからもっと色々な行事に参加して、楽しく過ごしていきたいです。	
③県大会目指してあと1年、有高FC盛り上げていきましょう!	

中村の「さっくん」さんにバトンタッチ

50	佐藤 孝之(さっくん)
	① どん!! と行こうやー
②ここに住んでいる1人1人が自慢で、何処を見渡しても優しさで溢れている。そんな有帆が大好きです。これからも皆さんどうぞ宜しくお願いします。	
③有帆も、有高FCも、一緒に盛り上げていきましょう!!	

中村の「しょうちゃん」さんにバトンタッチ

51	森 正路(しょうちゃん)
	① 自由に生きる
②サッカーで様々な町に行っただ、やっぱり住むなら有帆ですね。有帆最高!	
③サッカー、バスケで忙しいけど頑張れママ。これからもよろしくお祈りします。	

⇒次号、片山の浅上さんに続く